



白井市!

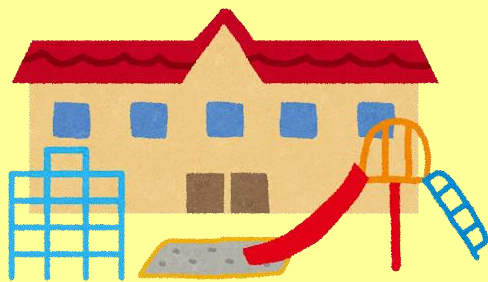
# 保育士の笑顔が現場を変える

～子どもと保育士が明るく輝く保育園へ～

白井市では、市内の保育施設が、子ども、保護者、保育士それぞれにとって「行きたい!」と思える場所であってほしいという考えから、公立・私立の垣根を越えて、全園協同で「保育士の“魅力ある働き方”の推進」という取組みをおこなっています。

令和5年度より、取組みの一環として、階層ごとの保育士交流を行います。

●現場の保育士が感じる課題に、白井市全体で取組みたい。



他園の仲間たちと情報交換をしたり、課題解決に向けて明るく前向きに考えてみませんか?

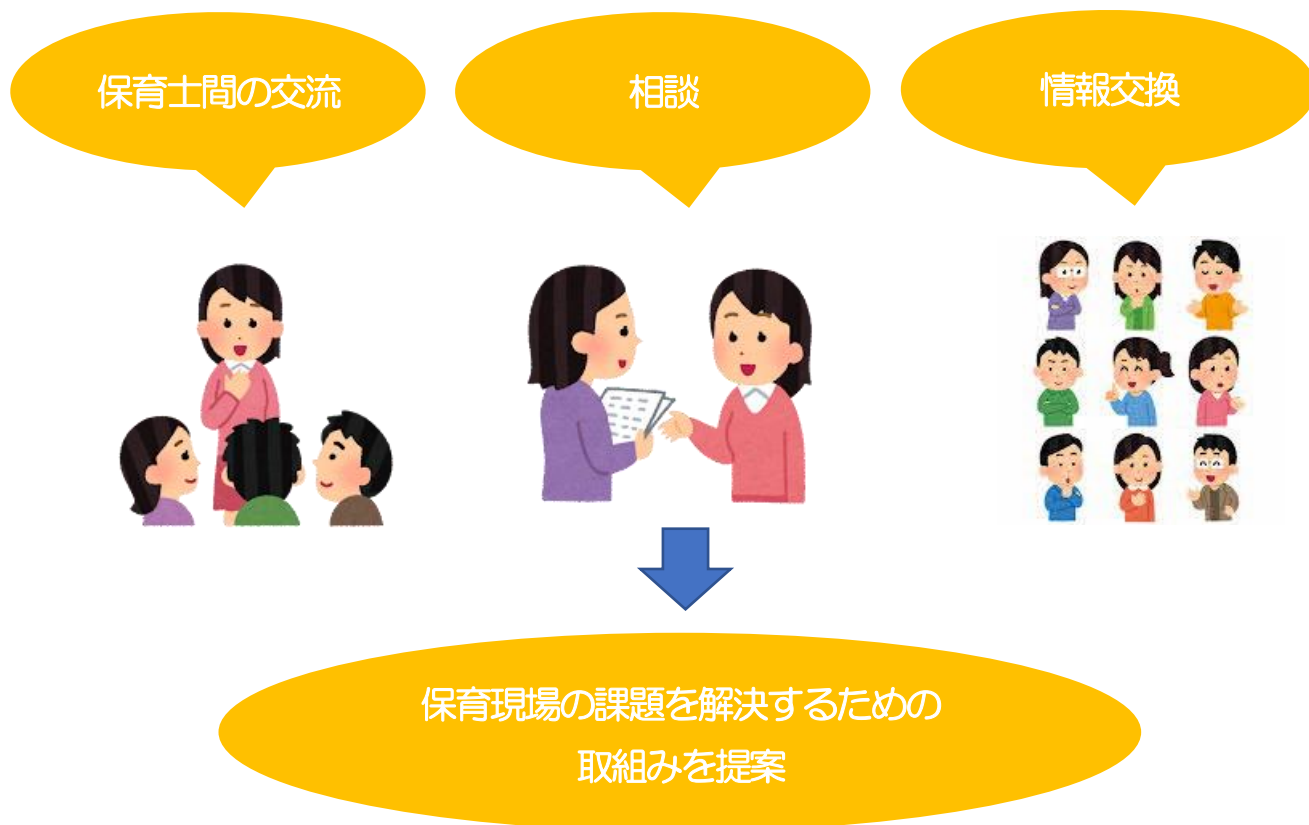
- こんな保育をしていきたい…
- こんな取組みをしてみたら良くなった…
- こんな職場にしていきたい…



現場の保育士さんが、保育士同士の交流を通じて、現場の課題解決や保育の質の向上につながる取組みを園長や市に提案する仕組みを築き、サポートしていきます。

## ●保育士同士の交流から、市の課題を見つける。

職位や経験年数が同じくらいの保育士さんによるグループ交流の場をつくり、園の垣根を超えて、情報交換や困りごとの相談等を行いながら、同じ目線の仲間とともに保育の質の向上のための取り組みを市に提案します。



## ●現場の保育士の提案が、市の取り組みとなる。

交流会から提案された課題や取り組みは、市や園長会議で検討を行い、市全体の取り組みにつなげたり、情報を各園にフィードバックします。

トップダウンによる課題解決の指示ではなく、保育士さん自身が現場で感じていること、必要と思うことを、市全体の取り組みにつなげていきます。

白井市では、保育士自らの

「こんな職場にしたい。」

「こんな保育をしていきたい。」

という、「想い」を大事にしたいと考えています！

